

## 令和5年度第1回陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー一会議 議事要旨

- 開催日時 令和5年7月5日（水）午後2時から午後4時まで
- 開催場所 陸前高田市消防防災センター2階 防災研修室
- 出席委員 牛山素行委員（委員長）、加藤孝明委員、関谷直也委員、中村吉雄委員、福留邦洋委員
- 配布資料
  - 資料1 陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー一会議設置要綱
  - 資料2 陸前高田市津波避難計画の策定について
  - 資料3 今後のスケジュールについて
  - 参考資料1 岩手県地震・津波被害想定調査報告書の概要
  - 参考資料2 岩手県地震・津波被害想定調査報告書
  - 参考資料3 岩手県津波浸水想定図
  - 参考資料4 岩手県津波計算結果（参考）
  - 参考資料5 津波防災マップ（簡易版）
- 経過概要
  - 1 事務局から、委員に対して委嘱状が交付された。
  - 2 事務局から、挨拶及び陸前高田市津波避難計画策定アドバイザー一会議設置の趣旨が説明された。
  - 3 各委員からの自己紹介により、委員紹介が行われた。
  - 4 委員の互選により、牛山委員が本会議の委員長に選出された。また、牛山委員長の指名により、職務代理者は、加藤委員に決定した。
  - 5 牛山委員長より、本会議の委員長就任にあたって挨拶が述べられた。
  - 6 事務局から、津波避難計画の策定について、配付資料に沿って、説明が行われた。
  - 7 津波避難計画の策定について、意見交換が行われた。主な意見は、次のとおりである。
    - ・ 車避難について。この地域のような車社会では、何らかの形で車避難は否定できないのではないかと考えられるが、具体論でどうするかが難しいところだろう。
    - ・ 東日本大震災の時もそうだったが、実際に住民等が車避難した場合でも、渋滞したところだけでなく、渋滞しなかったところもある。渋滞したところばかりが目され、車避難が問題視されている部分があると思う。

実際に、沿岸部の約5割の住民が車で避難をしているという実態があるので、この地域で車避難は否定できないというのが大前提としてあると思う。

車避難を考えるにあたっては、道路が震災前に比べて大きく整っているのでも、そのあたりも加味しなければならない。道路が矮小だったところや三叉路の多かったところを解消するように整備がなされたので、現在の道路の状態で車避難した場合

に、渋滞が起こるか否かは議論の必要があると思う。

- ・ 安易に避難困難者対策として車避難を容認することは避けたい。住民が納得できるよう、効果検証したうえで検討すべき。
- ・ 渋滞が起きないようにするには、避難した車が入れるようなスペースをいくつか用意しておかなくてはいけない。そうしないと、エンストや事故などで渋滞してしまう。

他にも、車避難を検討するうえでは、来街者のことも考えないといけない。この地域は、沿岸部であるため、夏場には人も多く集まる。来街者は基本的に地理がわかっていないため、どのように動くか予想できない。来街者の避難が住民の避難を阻害しないよう検討が必要。

- ・ 災害時には、2車線を両車線とも一方通行にして、2車線で避難できないか、具体的な検討をしてはどうか。
- ・ 震災の時の他都市の事例だが、地震でコンクリート柱が落ちたため、現場検証のため、通行止めをし、避難に支障をきたした事例もある。現場検証も含めた災害時のルールを決めておくというのも重要だと思う。
- ・ 岩手県が公表した「岩手県地震・津波被害想定調査」で示されている避難速度を考えると、伝承館から一番最寄りの浸水区域を抜けるまでに津波が到達してしまう。伝承館の周りに何らかの避難施設を作ることも検討しなければならない。
- ・ 寒冷地帯でもあるので、単に避難タワーでは厳しい。建物である必要がある。
- ・ 車避難を考える上では、通過交通をどう抑えるかというののもかなり重要。慣れない車が入ってくることが一番のトラブルの原因になる。本市の場合、主要道を何か所止めれば、車の流入を防ぐことができる。そういったことも議論したい。
- ・ 震災の時もすでに津波が迫っているのに国道45号の海岸近くを走行している車が見られた。こうしたことを回避できるような検討も重要だろう。
- ・ 車避難についてもそうだが、シミュレーションを行い、検証した方がいい。
- ・ シミュレーションの条件などもこの委員会で議論できるとよい。シミュレーションをかけ、見える化しないと市民は納得できないと思う。

現在、地域防災計画では、車避難について、必要な人の利用を認めている。シミュレーションをかけ、どのレベルの方までを車避難の対象とするか検討し、ルール作りをしていければと思う。

- 8 事務局から、今後のスケジュールについて説明が行われた。